

所信表明

私は、流山で多くの方々に支えられ、数々の優しさに触れました。「受けた恩は石に刻め」とありますが、これらの恩は決して忘れることなく、刻石流水の精神で流山市の教育・文化・芸術・スポーツの振興に貢献していく所存です。

そのために私が目指す流山の教育は、子どもが主体的に考え、何事にも挑戦し、失敗を繰り返して「生きる力」を養っていくことです。

社会の変化が激しく、急速に人工知能が発達していくことが想定されるこれからの時代、与えられた業務を言われた通りに正確に行う能力よりも、「新たなものを創り出す創造力と実行力」や「話し合いによる問題解決能力」、「多様な価値観を尊重する力」など、「生きる力」が必要とされていくのは間違いありません。

これらの生きる力を養うには、多くの人との出会いや失敗・成功の様々な経験が必要不可欠です。未来を担う子どもたちが、何事にも果敢に挑戦するためには、我々教育委員会が、学校が、教師が、保護者が、率先して挑戦と失敗を繰り返すことで、子どもが失敗を恐れず、楽しみながら無意識に挑戦できるように我々大人が手本とならなければなりません。

今の子どもたちが生きる力を備えた大人や親になった時、流山市で子育てや教育を受けさせたいと思ってもらうことで、本市が発展的な持続可能都市になると考えております。

「挑戦なくして失敗なし」「失敗なくして成功なし」
教育委員会のスローガンは「挑戦」です。

教育委員会を取り巻く様々な課題に対し、私は逃げずに挑戦していきますので、皆様方には御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

流山市 教育委員会
教育長 吉田 瑞穂